

# 心豊かで明るくイキイキした地域づくり

安全と安心の  
地域社会

教育環境の整備、  
生涯学習の充実

環境対策の  
推進

健康と福祉の  
充実

**Q.** 簡易水道事業の上水道事業への統合は

**A.** 平成29年度より順次統合を進めて  
いきたい

**質問** 統合に向けた簡易水道組合に対するアンケートの内容と、その結果は。

**答え** 平成27年10月、平成28年10月の2回実施した。1回目は、簡易水道の状況や問題点、不安に思っている点に加え、要望事項など。2回目は「現状のままでよく、将来的にも市の上水道化を考えていない」を含めた3つからの選択でアンケートをとり、その結果、「今すぐにでも加入したい」および「平成40年までに加入したい」が、合わせて67団体あった。

**Q.** 市街地における都市型水害に対する  
取り組みは

**A.** 計画的に事業の進捗を図り、  
浸水対策に取り組む

**質問** 雨水の貯留施設や放水路、下水道の整備などの浸水対策事業は。

**答え** 市街地の雨水被害の軽減を図る目的で雨水調整池の設置を指導しており、公共施設や大型商業施設には駐車場などで雨水調整機能を持たせるとともに、雨水浸透ますを設置。下水道整備では、雨水排水施設の整備を本格的に始めており、倉部川雨水幹線事業、横江地区雨水幹線事業に着手し、鶴来地域の平等寺川流域も今年度、雨水排水対策として調査・設計を行う。

**Q.** 協働のまちづくりの推進は

**A.** 新たな地域コミュニティ組織を  
つくる必要がある

**質問** 協働のまちづくりに取り組む新たな組織や人材の育成、行政としての支援は。

**答え** 新たな組織については、各種団体が連携し、地域全体が相互に補完することにより、地域の課題解決や活動の発展、一体性の確保につながる組織の構築を検討。同時に、新たな財政支援制度の創設に向けて、市民の皆様や各種団体の方々に協力と理解を求めながら、既存の補助金の整理や見直しを行い、地域の主体性が一層発揮される仕組みを構築していきたい。

## 議会質問からの抜粋

**Q.** ファシリティマネジメントの  
視点に立った取り組みは

**A.** 適正な規模の施設で、より  
効果的、効率的に取り組む

**質問** 行財政改革には、効率性や合理性を考慮した横断的な取り組みが大切。資産全体を最適に保持する施設経営的な視点に立った取り組みへの考えは。

**答え** 指定管理者制度において民間への運営管理委託などにより、サービスの向上、あるいはコスト低減につなげている。平成27年には、市が所有するインフラ全般について白山市公共施設等総合管理計画を策定し、平成32年までに個別の施設ごとに更新、あるいは長寿命化についてそれぞれ計画を策定したい。

**Q.** 2040年に向けた白山市の  
将来ビジョンは

**A.** 市民も、自然も、まちも、  
全てが健康なまちづくり

**質問** 将来に向けて数々の課題があるが、市民が夢と希望を持って暮らすことができるよう、2040年の白山市をどのように思い描いているのか。

**答え** 健康で笑顔あふれるというのは市民の皆さんの願いであり、SDGs等も含めた未来都市というのが今後の形にしていって上で大事なことと思っている。議場はもちろん市民との対話の中で、住みやすい地域づくりに向け、頑張っていきたい。

**Q.** 住みよさランキング総合1位  
をどう受け止め生かすか

**A.** 輝かしく、大変うれしい。  
白山市のよさをPRしたい

**質問** 市民の皆様は白山市のよさを再認識いただき、強みをどう伸ばしていくのか、対外的にどのようにアピールしていくのか。

**答え** 行政のみならず本市に関係する全ての皆様の頑張りがあり、オール白山として評価をいただき、全国放送のテレビ番組や地元テレビ局、地域情報雑誌などから多くの取材があり、広く紹介された。これを契機として、県外で開催される移住フェア等の機会を利用して多くの方々から白山市のよさをPRしていきたい。

**Q.** 市政施行15周年を迎えての  
総括と今後の取り組みは

**A.** 市全体の魅力アップと持続  
可能な市政運営に努める

**質問** 合併の成果と課題、一体感の醸成と今後の取り組みをどのように考えているのか。

**答え** 自然環境や多様な伝統文化を共有することができ、地域間の連携を深め、地域の魅力を相乗的に高められたが、地域ごとに異なる課題を有している。一体感の醸成に資する最大の要因は、合併時に新たな市の名称を住民総意の下、全国に発信することができる白山市と命名したことが11万市民を一つにしているものと確信しており新たな歴史を刻んでいきたい。

よりよい“まちづくり”、  
夢のある地域づくりのためには  
市民の皆様の活力が発揮されるための  
行政の支援が必要です。